

第320号 2012年12月14日  
弘前大学総務部広報・国際課

**学術講演会・研究発表会・公開講座**

「国際医療機器展MEDICA2012および併催の国際医療機器技術・部品展COMPAMED2012  
視察報告会」開催のお知らせ

日頃、弘前大学「医用システム開発マイスター」養成塾の運営にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

国や青森県がライフイノベーション戦略を重要施策としてうち出す中、県内のものづくり産業界において医療機器産業への指向が活発になってきています。地域で開発した医療機器や関連の材料あるいは部品については、いずれ、広く世界に発信していく必要があります。そこで、「医用システム開発マイスター」養成塾では、2012年11月15日（木）～17日（土）にドイツ・デュッセルドルフのMesse Düsseldorfにおいて開催された国際医療機器展MEDICA2012および国際医療機器技術・部品展COMPAMED2012に、教員・受講生あわせて3名を派遣し、視察調査を行いました。

つきましては、視察調査の内容に関しまして下記の通り報告会を開催し、医療機器開発の現状認識と世界への発信について意見交換を行う機会としたいと思います。年末のご多忙の中とは思いますが、ご参会いただきますようご案内申し上げます。

1. 日 時：2012年12月21日（金）15：00～16：00
2. 場 所：弘前大学理工学部第8講義室（理工学部4階）
3. 報 告：（1）開発した医療機器等をどのように発信しているか－企業開発担当者の立場から  
赤石寿実（第3期受講生、（株）弘前機械開発）  
（2）医療機器開発の最新動向－医工連携研究者の立場から  
城田 農（PBLゼミナール・チューター、弘前大学理工学研究科・助教）
4. 意見交換：地域から世界への発信について  
司会：牧野英司（養成塾総括副責任者、弘前大学理工学研究科・特任教授）
5. 主 催：弘前大学「医用システム開発マイスター」養成塾

※参加をご希望の方は下記申込先に電話または電子メールでお申し込みください。また、どなたでも参加できます。

**問い合わせ・申し込み先**：弘前大学「医用システム開発マイスター」養成塾事務局  
電 話：0172-39-3674  
E-mail：[meister@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:meister@cc.hirosaki-u.ac.jp)

「弘前大学大学院保健学研究科  
平成24年度 第2回大学院活性化講演会」開催のお知らせ（再掲）

弘前大学大学院保健学研究科では、平成24年度第2回大学院活性化講演会を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

1. 日 時：2012年12月21日（金）17:45～19:00
2. 場 所：弘前大学大学院保健学研究科 総合研究棟6階 第24講義室
3. 講 師：東京女子医科大学看護学部 学部長 大学院看護学研究科 教授  
田中 美恵子 先生
4. 演 題：全人的ケアのための看護倫理

※入場無料、事前の申し込みは不要です。

**問い合わせ先**：弘前大学大学院保健学研究科 学務グループ  
電 話：0172-39-5911

「弘前大学地域社会研究会」開催のお知らせ（再掲）

弘前大学大学院地域社会研究科では、「地域社会研究会」を下記により開催いたします。地域社会にかかわる研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できます。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2012年12月22日（土） 13:00～
2. 場 所：弘前大学創立60周年記念会館  
コラボ弘大4F 大学院地域社会研究科演習室
3. 内 容：檜 貢（弘前大学大学院地域社会研究科長）  
「わが国における国土計画論について」

大山 祐太（弘前大学大学院地域社会研究科10期生）

「知的障害者のスポーツ活動に携わる大学生ボランティアの抱える不安に対する研究ー特にスポーツボランティアに焦点をあててー」

4. 対 象：一般の方、学生、教職員

**問い合わせ先**：弘前大学地域社会研究会事務局 竹ヶ原 公  
E-mail: [takegahara2002@yahoo.co.jp](mailto:takegahara2002@yahoo.co.jp)

学 内 掲 示 板

男女共同参画推進室からのお知らせ

平成24年度北東北国立3大学連携推進会議連携協議会  
男女共同参画合同シンポジウム  
～北東北地域大学間連携による男女共同参画の推進に向けて～

男女共同参画推進室は、下記の要領で「平成24年度北東北国立3大学連携推進会議連携協議会男女共同参画合同シンポジウム～北東北地域大学間連携による男女共同参画の推進に向けて～」を開催いたします。多くの方々の参加をお待ちしております。



1. 日 時：2012年12月21日（金）13：30～16：00
2. 場 所：弘前大学創立50周年記念会館2F 岩木ホール
3. 対 象：弘前大学教職員、連携機関教職員、北東北3大学の皆様  
※参加費無料、事前のお申し込みは不要です。
4. プログラム：13：30 開会挨拶 弘前大学長 佐藤 敬  
13：40 基調講演「大学における男女共同参画と女性研究者支援について」  
講師：山村 康子 氏  
(JST科学技術システム改革事業プログラム主管)  
14：10 休憩  
14：20 パネルディスカッション  
北東北地域の男女共同参画の推進に向けて  
秋田大学、岩手大学、弘前大学のさらなる連携を拓く  
～共通する取り組みと課題からみえるもの～  
15：55 「弘前宣言」採択  
16：00 閉会
5. 同時開催イベント：パネル展「国内外で活躍する弘前大学の女性研究者たち」  
(主催：弘前大学男女共同参画推進室、シンポジウム会場にて開催)
6. 主 催：弘前大学
7. 共 催：秋田大学、岩手大学、学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム
8. 後 援：青森県、弘前市

**問い合わせ先**：弘前大学男女共同参画推進室

電 話：0172-39-3888

E-mail：[equality@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:equality@cc.hirosaki-u.ac.jp)

#### 弘前大学出版会から新刊のご案内

北原晴男監修「日英対訳津軽の藍 Tsugaru Indigo」（A5判・159頁・定価1,890円：税込）を出版しました。

— 藍を通じて津軽を知る —

藍染は古くから世界各地で行われ、一般に藍＝藍染のイメージが強い。その一方で、藍は多くの薬効を持つ植物としても知られている。本書は弘前大学における藍の抗菌成分研究実用化にあわせて刊行するもので、共同研究先の企業が、海外に拠点、あるいは提携先を持つことから、本文は日英対訳版となっている。

本書は第一部「藍と藍染」、第二部「津軽藍の歴史」の二部構成となっている。第一部では、藍染の布に展開したこぎんざしの世界、さまざまな藍染法と藍の持つ抗菌性物質、植物としての藍の多様さが述べられている。第二部では、近世弘前藩から現代の弘前大学での化学研究まで、歴史の流れに沿って、藍にまつわるさまざまな事柄が新資料に基づいて書かれている。

全体を通してカラー画像を用い、化学的な色変化など、一般にあまり馴染みのない事柄もわかりやすくなるよう工夫を凝らしている。地域を知る教材として、学校現場など多方面での活用も期待される。



ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求めください。

### **弘前大学出版会から出版のための企画募集**

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

**問い合わせ先：** 弘前大学出版会（附属図書館内）  
電 話：0172-39-3168  
F A X：0172-39-3171  
E-mail：[hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp)

### **国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について**

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第25号・第23号・第22号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から） 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail：[jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp) Fax:39-3498、内線：3012